

1. Cinderella, R, Maxima をインストールする.

- <https://beta.cinderella.de> (Cinderella)
- <https://cran.r-project.org> (R)
- <https://sourceforge.net/projects/maxima/files> (Maxima)
- <https://www.sumatrapdfreader.org/download-free-pdf-viewer.html> (Sumatra)

注) Sumatra は Windows だけである.

注) ダブルクリックして, 起動するかを確認する.

2. TeX をインストールしていない場合はインストールする.

(1) TeXLive を推奨

- 2018 以降では ketcindy が既に入っている.

(2) KeTTex は TeXLive の軽量版

- kettex.exe を以下からダウンロードできる.
<https://www.dropbox.com/s/fthw4btjqqs33tc/kettex.exe?dl=0>
- ダブルクリックしてできる kettex を C:\\に入れる.

(3) 他の TeX の場合は, 3.(2) を参照する.

3. KeTCindy のインストール(1) ketcindy を CTAN(<https://ctan.org>) からダウンロードする.

ketcindy で検索 > Package ketcindy > download

注) 最新版は, Repository のサイト

<https://github.com/ket-pic/ketcindy>

から以下のようにダウンロードできる.

Clone or download > Download ZIP

この場合は, ketcindy-master になる.

注) 解凍してできるフォルダをデスクトップに移動する.

(2) ketcindy(-master)/forWindows を開く.

注) Windows10 の場合, セキュリティブロックを解除する.

右クリックして「プロパティ」>「セキュリティ」>「許可」

注) 他の TeX (TeXLive, W32tex 以外) を使っている場合

- setketcindy.bat をテキストエディタで開く.
- パスを修正する.

(3) 次のバッチファイルを右クリック「管理者として実行」を選ぶ.

KeTTex setketcindy.bat

TeXLive setketcindytexlive.bat

W32TeX setketcindyw32J.bat

他の TeX setketcindy.bat (要修正)

- scripts の中身が TeX にコピーされる
- ketcindy の style ファイルが TeX にコピーされ mktexlsr が実行される.
- Cinderella の Plugins に KetcindyPlugin.jar をコピー, ketcindy.ini が作成される.

(4) setwork.bat をダブルクリック

- ・ 作業ディレクトリ ketcindy がユーザホームに作成される.
- ・ タイプセットの方法 (TeX の種類)
通常は, platex (p) または uplatex(u) を選ぶ.
- ・ R, Maxima では, バージョン番号 (3.4.2, 5.37.3 など) を入れる.
- ・ ketcindy フォルダに work フォルダの中身がコピーされる.
- ・ .ketcindy.conf (編集可能) がユーザホームに作成される.
注) TeX を切り替えるときなどはこのファイルを修正する.
- ・ マニュアルもコピーされる.
- ・ 作業ディレクトリに ketcindy.conf の雛形がコピーされる.
- ・ KeTCindy を立ち上げたとき, 設定ファイルは次の順に読み込まれる.
 - 1) ketoutset.txt
 - 2) ユーザホームの .ketcindy.conf
 - 3) 作業ディレクトリ ketcindy の ketcindy.conf

4. KeTCindy のテストラン

- (1) 作業ディレクトリ ketcindy を開く.
- (2) ketcindy 中の template1basic.cdy を選び, 「情報を見る」を開く.
 - ・ アプリケーションが所定の Cinderella2 になっていることを確かめる.
 - ・ 「情報」を閉じて, template1basic.cdy をダブルクリックする.
 - ・ 画面に白い枠が出れば, ライブラリの読み込みは成功.
- (3) スクリーンの左上にある Figure ボタンを押して, PDF が表示されれば成功.

注) PDF の表示後, ターミナル画面を閉じるようにするには

- ・ アプリケーション / ユーティリティ / ターミナルを開く
- ・ トップメニューから
ターミナル > 環境設定 > (プロファイル) > シェル
「シェルが正常に終了した場合閉じる」を選択

5. TeXworks の設定 (kettex の場合)

- ・ <https://github.com/TeXworks/teXworks/releases/> からダウンロードできる.
- ・ TeXworks を立ち上げる
- ・ TeXworks > ファイル > 設定 > タイプセット
- ・ 上の欄 (パス) に以下を追加
C:\kettex\texlive\bin\win32
注) 上の行を上欄の先頭になるように移動する.
- ・ 下の欄の横にある + をクリック
 - ・ 名前: uplatex(ptex2pdf) または platex(ptex2pdf)
 - ・ プログラム: ptex2pdf
 - ・ 引数:
 - u (uplatex の場合のみ)
 - l
 - ot
 - \$synctexoption
 - \$fullname

OK ボタンを押し、デフォルトを変更して OK ボタンを押し.

6. gcc のインストール

- ・ 曲面描画のためには, gcc が必要である.
- ・ minGW のホームページ <http://www.mingw.org> から
download > Install > mingw-get-setup.exe
をダウンロードして実行
注) パッケージは, mingw32-base, mingw32-gcc-g++だけでよい.